

梶山ひろし

プロフィール

●昭和30年10月18日、茨城県常陸太田市生まれ●県立太田第一高～日大法学部卒●サラリーマン生活を経て、昭和63年会社を設立し、中小企業の経営にあたる●平成12年衆議院議員初当選、現在6期●母・春江、妻・由可子、3女の6人家族



レポート View vol.51

平成28年
新春号愛郷無限
新時代
Kajiyama Hiroshi

●発行／茨城県常陸太田市山下町1189 自由民主党茨城県第四選挙区支部

梶山ひろし、2016年の課題
景気回復、地方創生に成果を！

明けましておめでとうございます。皆様、穏やかな初春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

■昨年は災害対策特別委員長として
法律の改正やソフトインフラを整備

昨年、梶山ひろしは衆議院災害対策特別委員長として、災害対策の舵取り役を務めて参りました。「活動火山特別措置法」改正や火山災害、豪雨災害を教訓にこれらに対処する情報網・ソフトインフラづくりなどに成果を残すことができました。これも皆様のご支援の賜物と感謝を申し上げる次第です。



災害復旧促進全国大会で災害対策特別委員長として挨拶



第27回茨城県JA大会で自民党茨城県連会長として代表挨拶

さて、安倍政権も3年が経過、最重要課題として経済の再生に取り組み、日本全体の経済指標は好転して参りました。しかし、梶山ひろしが指摘しているように、地方や中小企業に関しては好転の兆しがないところが数多く見受けられます。梶山ひろしは、本年を地方の基礎体力をつけ、少しなりとも底上げをしていく勝負の年と位置づけています。

■地方創生・地方居住推進を政府に提言。
引き続き、実現に向けて全力投入

現在の地方の大部分は、一次産業中心の産業構造となっていますが、これからは、それら地域のあらゆる資源を組み合わせ新たな付加価値を産み出していく、その上で、地方に人の流れを呼び込み、雇用の拡大や地方定住につなげ、地方創生を図る、これが梶山ひろしの持論であります。昨年、地方居住推進議員連盟会長代理として現場の声を政府に提言したところです。本年はその推進・実現に取り組んで参ります。

一方、選択と集中の意識のもとで、将来の発展に必要な社会資本整備は、迅速に進めなければなりません。並行して社会問題化している道路や橋梁等の老朽インフラ改修にも着実に対応していかなければなりません。



ビーチライフふれあいフェスティバルin阿字ヶ浦で挨拶



災害対策特別委員会閉会中審査にて委員長として報告